

区分	☒ 新規 ☐ 再提案 （ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	☐ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☒ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	国土交通省技術環境政策課
	☒ 県	担当部局課室	企画振興部 交通政策課 建設部 道路管理課
	☐ その他	名 称	
件名	自動運転サービスの本格的な社会実装に向けた財政支援及び環境整備について		
提案市	塩尻市		
提案要旨	地域公共交通の維持確保及び持続可能な地域社会の実現に向け、レベル４無人自動運転移動サービスの社会実装を早期に達成するため、国に対して、制度・運用の見直し・簡素化、財政の支援・拡充、技術的支援及び開発促進を要望する。 また、県に対して、国への積極的な働きかけ、県独自の財政的・技術的支援の創設・拡充、インフラ側の環境整備を要望する。		
提案理由	県内でもバス運転士不足等に起因する路線バスの減便や廃止が発生している。自動運転技術は、地域公共交通の維持確保のみならず、交通事故の削減やCO₂削減など、多範な分野へ波及効果をもたらす次世代技術であり、その早期実用化が急務となっている。 全国の自治体でも社会実装に向けた取組が加速しているが、車両購入費、維持管理費、関連システム使用料等のコストは高額であり、これらを継続的に負担することが課題となっている。 また、レベル４認可取得後であっても、さらなる安全性・安定性の向上や「１対N型」遠隔監視の実現など、中長期的に取り組むべき課題は多く、事業費確保は自治体にとって大きな負担となる。厳しい経営基盤の地方交通事業者の持続安定的な運行を支え、レベル４無人自動運転移動サービスを地域に定着させるためには、国への働きかけと、自治体の継続的な取組を支える県の多角的な財政・技術的支援、道路インフラの環境整備が不可欠であることから、本提案を行うものである。		

提案理由

現況及び課題等	・初期・維持コスト負担 自動運転の導入計画策定から実証実験、本格運用に至るまで、車両購入費や高度な運行管理システム使用料、委託費など、従来の公共交通維持費を上回る事業費が発生。社会実装後すぐに人件費削減等のメリット享受は困難であり、地方自治体の単独財源や現行の時限的な補助金だけでは、実証実験の継続を見送らざるを得ない構造的課題がある。 ・塩尻市における現況 塩尻市では、持続可能な地域公共交通網を構築するため、先進的に自動運転技術を活用した実証実験および社会実装に向けた取組を推進してきたが、車両維持管理費やシステム改修に係るランニングコストは、今後の継続的な運行において財政的負担となっている。また、降雪や天候変化への対応といった地域固有の技術的課題、運行事業者との連携、市民の受容性醸成など、対応事項は多岐にわたり、先行地域としての汎用的な運用モデルを確立するためには、一自治体の枠を超えた広域自治体県による財政支援とバックアップが不可欠と考える。 ・自動運転走行の支障となる道路インフラの課題 自動運転車両に搭載されたセンサーやカメラが正確に機能するためには、良好な道路環境の維持が前提となる。しかし現状の県道等においては、「街路樹や雑草の繁茂」による車両・センサーへの接触リスクや、「路面のわだち・凹凸」による車両挙動の乱れが生じている。これらは自動運転のみならず、あらゆる走行車両にとっても接触やスリップ等の事故リスクを高める共通の課題となっている。地域全体の交通安全を確保する観点からも、道路メンテナンス・環境整備の推進が必要と考える。
関係法令	